

【ご質問】

デジタル事業において、2022 年度に仕掛品の評価損等の金額が大きかった理由を教えてください。

【ご回答】

デジタル事業における家庭用ゲームビジネスにおいては、COVID-19 の影響により開発の遅延を受けていたタイトルが、弊社を含め業界全体から今後数多くリリースされることが予想されます。そのような競争の激化や、クオリティを重視したことによる、開発期間の長期化を踏まえ、企画開発当初のビジネスプランをあらためて厳しく精査したためです。

【ご質問】

デジタル事業のネットワークコンテンツ売上高の 2023 年度の通期計画について、内訳を教えてください。

【ご回答】

2023 年度ネットワークコンテンツ売上高計画は、合計 2,000 億円のうち、ゲームアプリケーション：1,805 億円、SNS：10 億円、PC オンラインゲーム他：185 億円／海外比率 42%となっております。

<ご参考：2022 年度ネットワークコンテンツ売上高>

合計 1,940 億円（ゲームアプリケーション：1,841 億円、SNS：25 億円、PC オンラインゲーム他：74 億円／海外比率 43%）

【ご質問】

海外売上高比率の中期目標が 35.0%、長期目標 50.0%というのは、ここ数年の伸長を鑑みると高い目標値となってきますが、何をドライバーとして達成していく考えでしょうか。

【見直しに関する注意事項】

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、戦略、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

※決算説明会の質疑の一部を抜粋し概要を掲載しております。

【ご回答】

まず、海外売上高比率は中期目標に対し順調に推移していますが、海外売上高が増加する一方で国内売上高も増加しており、海外事業の成長に比べて比率が上がりにくい状況にあります。

足元では、海外の各拠点の統合を実施し、2022 年度に様々な事業をグローバル展開した中で、大きな手応えがありました。中でもデジタル事業と玩具事業の連携が進んだことによる今後への期待があります。デジタル事業と玩具事業において主力 IP に関わるビジネスが相乗効果を発揮して大きな原動力になっていくと考えています。

【ご質問】

縦スクロールマンガ(Webtoon)に投資し、新しいビジネスを生み出すことに挑戦するとのことですが、戦略や狙いを教えてください。

【ご回答】

本ビジネスは、バンダイとバンダイナムコフィルムワークス、バンダイナムコフィルムワークスが出資するエコーズが連携して取り組みます。

バンダイナムコグループ、特に玩具事業においては、展開できる IP の数が増えるほど、ビジネスチャンスが広がります。その中の一つとして、オリジナルキャラクター、新規 IP は非常に大切だと考えています。現在世界から注目されてクリエイターが集まってきている縦スクロールマンガ(Webtoon)というジャンルで、多くのクリエイターと組むことで、新しいアイデアや IP を生み出していきたいと考えています。

【ご質問】

決算での事業報告や注目トピックを見渡した際、女性向けや若年層向けの商品・サービスにあまりフィーチャーされていないように感じますが、展開に苦戦を強いられている特定のターゲットやカテゴリーはありますか。

【見直しに関する注意事項】

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、戦略、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

※決算説明会の質疑の一部を抜粋し概要を掲載しております。

【ご回答】

バンダイナムコグループ全体ではまだまだ男性ファンの多いカテゴリーの商品・サービスの展開が多いですが、昨今の伸び率で言えば女性ファン、特にハイターゲット向け商材が大きく伸長しています。また、特定のターゲットやカテゴリーで苦戦しているということではなく、まだまだ開拓の余地がある市場として、国内外ともに展開していきたいと考えています。年齢や性別、国籍などにこだわらず、世界中の人々に楽しさと感動を届けたいと考えています。

【ご質問】

2023 年度の数値計画では、現行の中期計画最終年度の営業利益目標を一年前倒しで達成する見通しとなっていますが、中期計画の目標値を引き上げていくお考えでしょうか。

【ご回答】

2023 年度の営業利益については、中期計画の数値計画を 1 年前倒しで達成したいと考えていますが、中期計画最終年度の目標数値を変更するという考えは今のところございません。中期戦略を推進し、10 年先を見据えた基盤を固めたいと考えています。そのためにもまずは、2023 年度の計画を達成するとともに、成長のチャンスがあれば積極的にチャレンジしていきたいと思えます。

以上

【見直しに関する注意事項】

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、戦略、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

※決算説明会の質疑の一部を抜粋し概要を掲載しております。